

中日病院
だより

脳内の危険因子を調べる「脳ドック」は、単独での他、人間ドックなどの健診のオプションで受けることができます。脳血管などを隅々までチェックし、発病を予防することに意義があります。

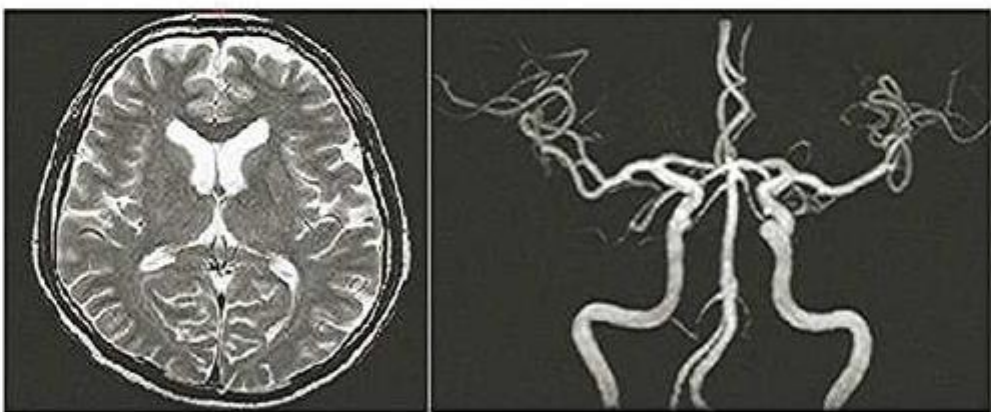
標準的な脳ドックでは血圧や心電図など一般的な生活習慣病関連の検査に加え、磁気共鳴画像装置(MRI)や超音波の検査で脳組織や血管を撮影します。画像を見ながら、脳卒中などのリスク



⑤ 脳ドック(健診センター)

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の
3。健診の問い合わせは中日病院健診センター 052(961)2496

検査のため、MRIで撮影した脳内の画像 中日病院提供



「隠れ脳梗塞」が見つかることもあります。脳血流障害の程度によっては脳梗塞や血管性認知症の危険性が高まり、注意が必要です。

また、脳血管の一部が膨らむ「未破裂脳動脈瘤」はくも膜下出血の原因となる可能性があります。MRIでの検査が早期発見に有用です。頸部の超音波検査で、頸動脈壁の厚みを調べれば、心臓冠動脈など全身の動脈硬化の指標にもなります。

当院は日本脳ドック学会の施設認定を受けています。特に問題がないと思っても定期的にチェックを受け、上手に年を取って健康寿命を延ばすことが重要です。

MRI検査では、言語障害や手足のまひなどの症状が全く出ていない (大野正弘健診センター 所長・談)

「隠れ脳梗塞」の発見も